

# 留 学 報 告 書

記入日:2013年08月26日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科フランス文学専攻
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	リヨン第三大学 Université Jean Moulin Lyon3
留学期間	2012年08月～2013年06月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1,2,3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年06月19日
明治大学卒業予定年	2015年03月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～5月下旬
学生数	約23,000人
創立年	1973年

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	6,000€	720,000円	月600×10ヶ月
食費	500€	60,000円	宿舍費に朝・夕食が含まれていたものでそれ以外
図書費	50€	6,000円	辞書代。教科書はプリントが配布されたので必要ありませんでした
学用品費	20€	2,400円	ほとんど日本から持っていきました
教養娯楽費	4,000€	480,000円	国内・海外よく旅行しました
被服費	100€	12,000円	ほとんど日本から持っていきました
医療費		円	
保険費		130,000円	
渡航旅費		260,000円	途中1度帰国したので2往復分
雑費	100€	12,000円	
その他		円	
合計		1,682,400円	1€120円計算。cafという住宅手当が月150€支給されたので、実際はもう少し少ないです。

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田→アムステルダム→リヨン

渡航費用

チケットの種類 \_\_\_\_\_ 往復

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_ 180,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

KLM オランダ航空。途中帰国した際も利用しました。日本のサイトで申し込むよりもフランスのサイトから申し込んだ方が安かったです。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

ホームステイ

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3)住居を探した方法:

現地大学の紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ステイ先の家族はとても親切で、困ったときは何度も助けてもらいました。家でもフランス語を使えるので、語学力を向上させるには良いと思います。その他、家庭料理を教わったり、旅行に連れて行ってもらったり、ホームステイならではの経験もたくさんできました。ただ、生活面・食事面においてはこちらが合わせなければならないので、合わない人には合わないのかもしれないです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ホームステイ先の家族や大学のフランス人の友人に相談しました。相談窓口はあったと思いますが、利用しませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

テロの情報収集にはフランス大使館のホームページを見ていました。地域レベルの情報はステイ先の家族がよく教えてくれました。リュックに南京錠を付けたたり、1人ではクレジットカードを使わないようにしたり、帰りが遅くなるときには無理に帰らず、友達の家泊めてもらったりして防犯対策をしました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ステイ先でも学内でも wi-fi 接続が可能でした。現地で契約した携帯電話でもインターネットにつなげることができたので困ったことはありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行を開き、日本から送金してもらいました。現地で作ったクレジットカードと日本のクレジットカードを併用していましたが、日本のカードは使えないことが多々ありました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

一通りの薬はもっていた方が良くと思います。あって助かったのはお米や醤油、みりんなどの調味料です。サランラップも役に立ちました。

## 進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他:進級
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33単位	<input checked="" type="checkbox"/> 30単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
cours d'initiation à la culture française	フランス文化
科目設置学部・研究科	留学生向け
履修期間	前期・後期
単位数	各学期3単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	フランス人
授業内容	フランスの文化を幅広い分野(メディア・歴史・音楽・料理・政治 etc)にわたって勉強します。毎回プリントが配られました。
試験・課題など	中間に筆記試験、学期末にマーク式の試験があります。内容は全て授業で習ったものですが、かなり細かいところまで出題されるのでしっかり勉強しなければなりません。出席もとっていないのでテスト一発勝負です。
感想を自由記入	留学生向けの授業だったので、ついていきやすい授業でした。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
français langue étrangère		フランス語	
<b>科目設置学部・研究科</b>	留学生向け		
<b>履修期間</b>	前期・後期		
<b>単位数</b>	各学期5単位		
<b>本学での単位認定状況</b>	8単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に120分が1回		
<b>担当教授</b>	フランス人		
<b>授業内容</b>	初回の授業で問題集が配られ、毎週出る課題の答え合わせと、次回の課題分の文法の説明。それぞれ自由にテーマを選択して、8分程度のプレゼンも行いました。		
<b>試験・課題など</b>	2回に1回小テストと、期末テストがありました。課題は毎週でした。		
<b>感想を自由記入</b>	分からないところがあれば授業中でも発言できる雰囲気でした。課題はとても多かったです。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Anglais thème		仏英翻訳	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・英語学科		
<b>履修期間</b>	後期		
<b>単位数</b>	2		
<b>本学での単位認定状況</b>	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に60分が1回		
<b>担当教授</b>	フランス人		
<b>授業内容</b>	フランス語の文章を英語に翻訳する授業。		
<b>試験・課題など</b>	毎回予習は必須。試験は学期末に1回。留学生には仏語の辞書の持ち込みが許可されましたが、試験時間が短く、辞書を引いてる余裕はありませんでした。		
<b>感想を自由記入</b>	授業はほとんど予習の答え合わせでしたが、基本的に口頭での回答・説明だったので、なかなかスピードについていけませんでした。授業を録音して何度も復讐する必要がありました。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Anglais version		英仏翻訳	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・英語学科		
<b>履修期間</b>	後期		
<b>単位数</b>	4		
<b>本学での単位認定状況</b>	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に60分が2回		
<b>担当教授</b>	イギリス人とフランス人		
<b>授業内容</b>	英語の文章をフランス語に翻訳する授業。		
<b>試験・課題など</b>	毎回予習は必須。試験は学期末に1回。留学生には仏語の辞書の持ち込みが許可されました。		
<b>感想を自由記入</b>	授業のスピードはゆっくりだったので、予習が必須といってもあまり苦ではありませんでした。しかし、母国語への翻訳なので、言い回しやニュアンスも採点基準になっていました。留学生に対して、その配慮はなかったので、苦戦というより、なす術ありませんでした。		

<b>履修した授業科目名(大学言語):</b>		<b>履修留学先した授業科目名(日本語):</b>	
Japonais histoire culturelle		日本の文化的な歴史	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・日本語学科		
<b>履修期間</b>	前期		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に120分が1回		
<b>担当教授</b>	フランス人		
<b>授業内容</b>	日本の歴史を文化的・政治的な面から分析する。		
<b>試験・課題など</b>	課題はなく、成績評価の基準は学期末の筆記試験のみ。留学生にはフランス語の辞書の使用が認められました。		
<b>感想を自由記入</b>	授業は日本史の教科書にも載っていないほど詳しい部分まで網羅していました。授業はフランス語で行われ、板書もなかったので、聞きとってノートを取るのが精一杯でした。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Japonais langue et société		日本の言語と文化	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・日本語学科		
<b>履修期間</b>	前期		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に60分が1回		
<b>担当教授</b>	フランス人		
<b>授業内容</b>	日本の社会状況を題材とした日本語の文章を先生が読み上げ、書きとって、フランス語に翻訳する授業。		
<b>試験・課題など</b>	課題はなし。成績評価の基準は学期末の試験のみ。試験内容は授業で扱った文章から出題されました。辞書の持ち込みは不可でした。		
<b>感想を自由記入</b>	翻訳の授業では使わないような専門的な単語が多く出てきたので、良い勉強になりました。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Japonais thème		仏日翻訳	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・日本語学科		
<b>履修期間</b>	前期・後期		
<b>単位数</b>	各2単位		
<b>本学での単位認定状況</b>	8単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に90分が1回		
<b>担当教授</b>	日本人		
<b>授業内容</b>	フランス語のテキストを日本語に翻訳する授業。		
<b>試験・課題など</b>	予習は必須。試験は各学期2～3回。辞書の持ち込み不可。		
<b>感想を自由記入</b>	1・2・3年生の授業を履修していました。テキストは主に会話表現だったので、日常的に使える表現を学ぶことができました。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Japonais version		日仏翻訳	
<b>科目設置学部・研究科</b>	言語学部・日本語学科		
<b>履修期間</b>	前期・後期		
<b>単位数</b>	各2単位		
<b>本学での単位認定状況</b>	6単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に90分が1回		
<b>担当教授</b>	フランス人		
<b>授業内容</b>	日本語のテキストをフランス語に翻訳する授業。		
<b>試験・課題など</b>	予習は必須。試験は各学期2～3回。辞書の持ち込み不可。		
<b>感想を自由記入</b>	1・2・3年生の授業を履修していました。テキストは日本の文化や物語が中心でした。答え合わせは口頭だったので苦労しました。		

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2011年 1月～3月	大学入学前。語学学校でフランス語を習い始める。
4月～7月	大学で本格的にフランス語の勉強を始める。
8月～9月	夏休みは語学学校と大学の夏期講習を受ける。認定校留学も視野に入れていたので、幹旋会社の説明会に行くなどして情報収集。
10月～12月	協定校留学の募集要項発表。学内で協定校留学の一次・二次選考。
2012年 1月～3月	協定校留学の候補者発表。キャンパスフランスに登録。戸籍謄本の翻訳を大使館認定翻訳代理店に依頼。フランス大使館に翻訳書類を郵送。JASSO留学奨学金に応募。
4月～7月	留学先の大学から正式な受け入れ許可証が届く。住居を探し、資金の準備を整えてからVISA申請。保険の加入。航空券の手配。
8月～9月	VISAの受取り。荷造り。出発。